

特35

864

神道神教話
完

大日本教育會新館

一	六	三	一
册	五	架	七
	號		函

東

列
三

014247-000-4

特35-864

神道神教話

藤江 二郎三郎 / 著

M12

ABB-0576



神道神教話自序

夫レ我神道ノ教導ハ

天地開闢

陰陽交合

四時循環

萬物生造

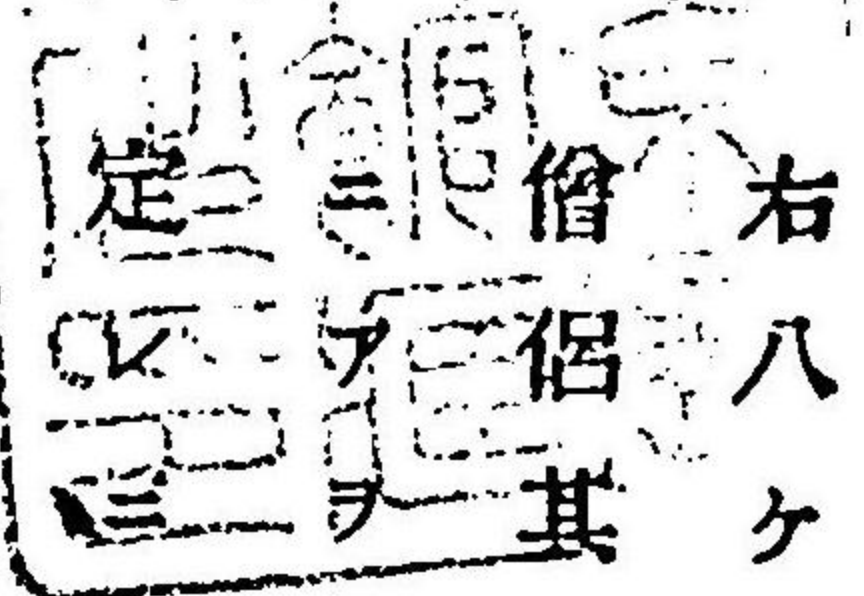
幽冥賞罰

生涯身勉

大安喜樂

復歸上天

右ハケノ天理人道ヲ説キ諭スベキ大任タリ辱モ神官
 僧侶其職ヲ奉スナリ然ルニ僧侶獨リ其業ヲ勉勵ナス
 定ニハ人信ス人信スレバ衆集ル衆集レバ説教屢ナ
 リ屢ナレハ信ヲ得ル人最モ多シ



神道神教話自序

夫レ我神道ノ教導ハ

天地開闢

陰陽交合

四時循環

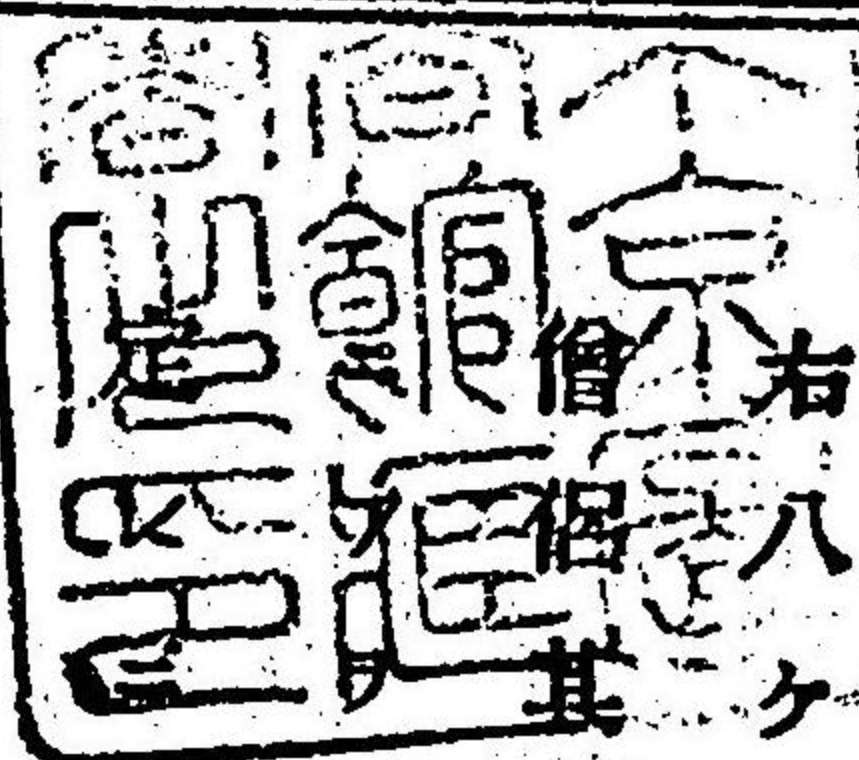
萬物生造

幽冥賞罰

生涯身勉

大安喜樂

復歸上天



右ハケノ天理人道ヲ説キ諭スベキ大任タリ辱モ神官
職ヲ奉スナリ然ルニ僧侶獨リ其業ヲ勉勵ナス
スト雖彼ノ佛法ニ戒行アリ故ニ教法定ル教法
ハ人信ス人信スレバ衆集ル衆集レバ説教屢ナ
リ屢ナレハ信ヲ得ル人最モ多シ

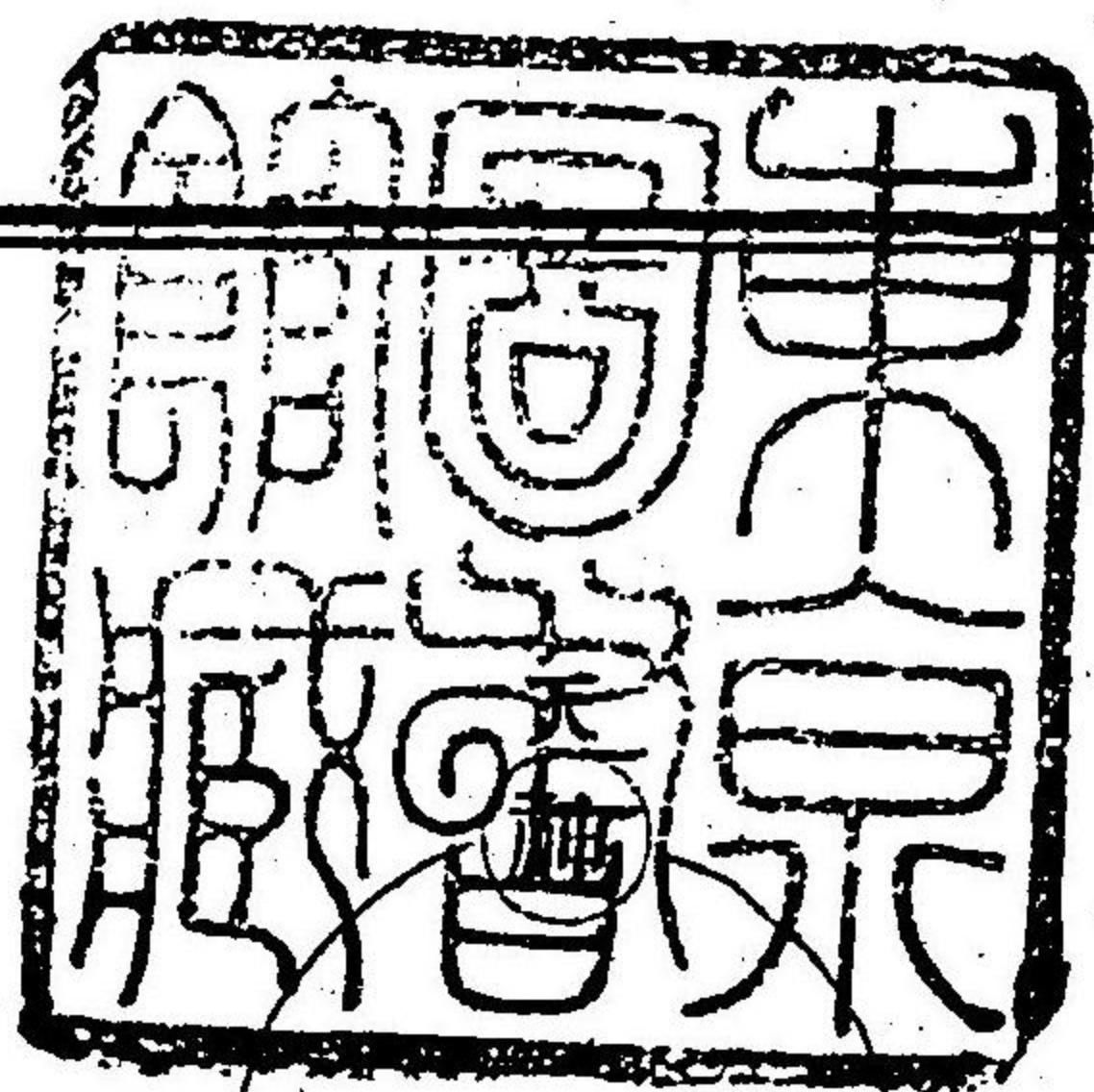
我神道ニ於ル清淨正直ノ天律アリト雖其天律ヲ信シ
定メタル人古今ニ鮮シ故ニ教法定ラヌ教法定ラザレ
ハ人信セス人信セザレハ衆集ラス衆集ラザレハ説教
ナラス説教ナラザレハ朝旨ニ遵守セサルニ似タリ
今ヤ神ノ明德ヲ信知シテ清淨正直ノ天律ヲ正シ神ノ
道ニ進ミ神ノ教ニ導ン人ヲ乞需ルノ秋ナリ若シ斯ノ
如キ人ヲ需メ得ザレハ文部ハ理學ノ有トナリ教部ハ
佛陀ノ處トナラン嗚呼我神教ハ如何ソ野老斯ノ如ク
神教ノ衰ヘ失ンコトヲ恐レ衰ミ拙キ舊慣ノ話ヲ吐露
スルニ至レリ日本人吾暖々タル雷同ノ弊話ヲ討
道ハ古ニ正シ教ハ今ノ時ニ諭シ明々赫々タル

天照大御神ノ高德ヲ地球及外天ニ輝サシコトヲ冀ニ在
者ナリ

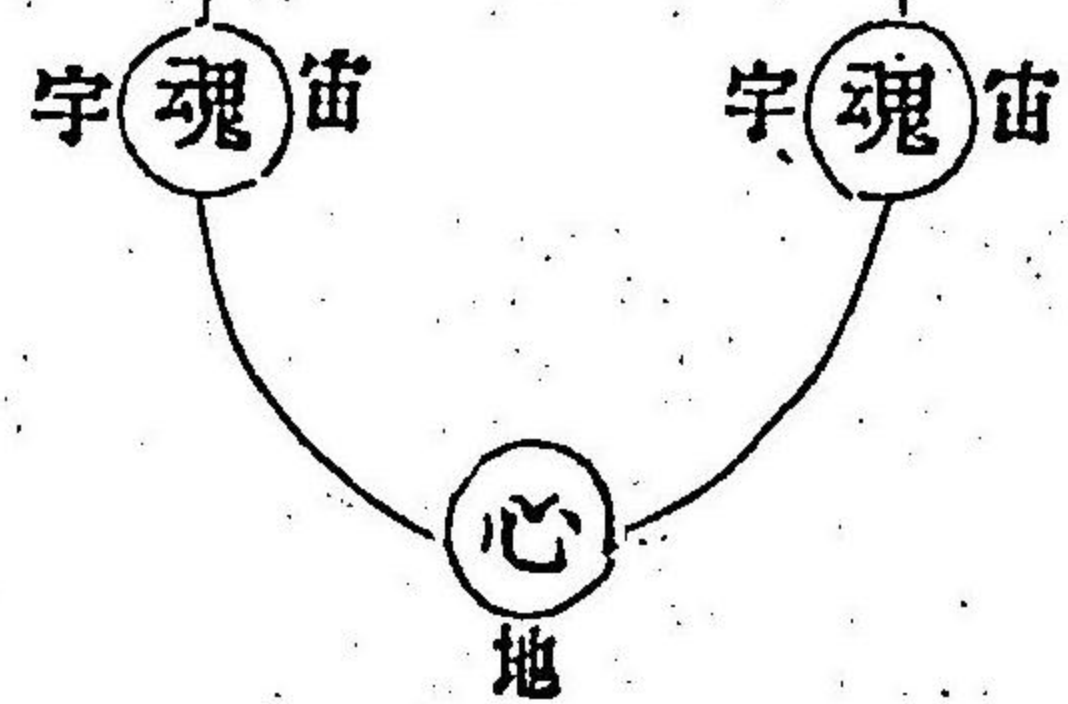
明治十二年五月

神道神教話

阿波國伊月里
藤江二良三郎 著述
同國切幡里
森 節 校正



神道ノ話



神天ヨリ降リテ宙宇ニ在ル魂ト云其魂地ニ降リテ人
 ニ着ク心ト云其心宙宇ニ昇リテ魂ト云其魂天ニ歸リ
 テ鬼神ト云圖ノ如ク循環シテ須臾モ息マズ譬ハ春苗
 生シ夏茂リ秋枯ル稻ノ神ハ穂ニ止リ春復苗ヲ生ズガ
 如シ

神ノ道

神魂の歸着乃道滅尋ぬ終は

然をりくしてはしおしと知終

天ノ道

月も日も人も千蟲も草も木も

然をりめくらぬものはあらまし

幽冥賞罰ノ話

前生ノ正業ハ現在ノ富貴現在ノ邪業ハ後生ノ貧賤ニ
ノ循環ノ賞罰ナリ又現賞アリ現罰アリ長ク子孫ニ傳
ルアリ恐ベシ慎ベシ

教體ノ話

神教ノ體ハ正ナリ

儒教ノ體ハ中ナリ

佛教ノ體ハ真ナリ

右正中真同體異名ナリ

天津教ノ話

鏡

玉

劍

智德

信德

仁德

古人玉ヲ以テ仁ニ配スアリ非ナリ玉ハ萬物一等ノ

貴賢信ハ衆徳ノ最第一故ニ玉ハ信ニ叶ヘリ又玉ハ
魂トモ見ルベシ古人劔ヲ以テ勇ニ配スアリ非ナリ
賞罰ノ正ヲ仁政ト云劔能ク正ク正ヲ護シ邪ヲ罰ス
故ニ道ハ仁ニ叶ヘリ

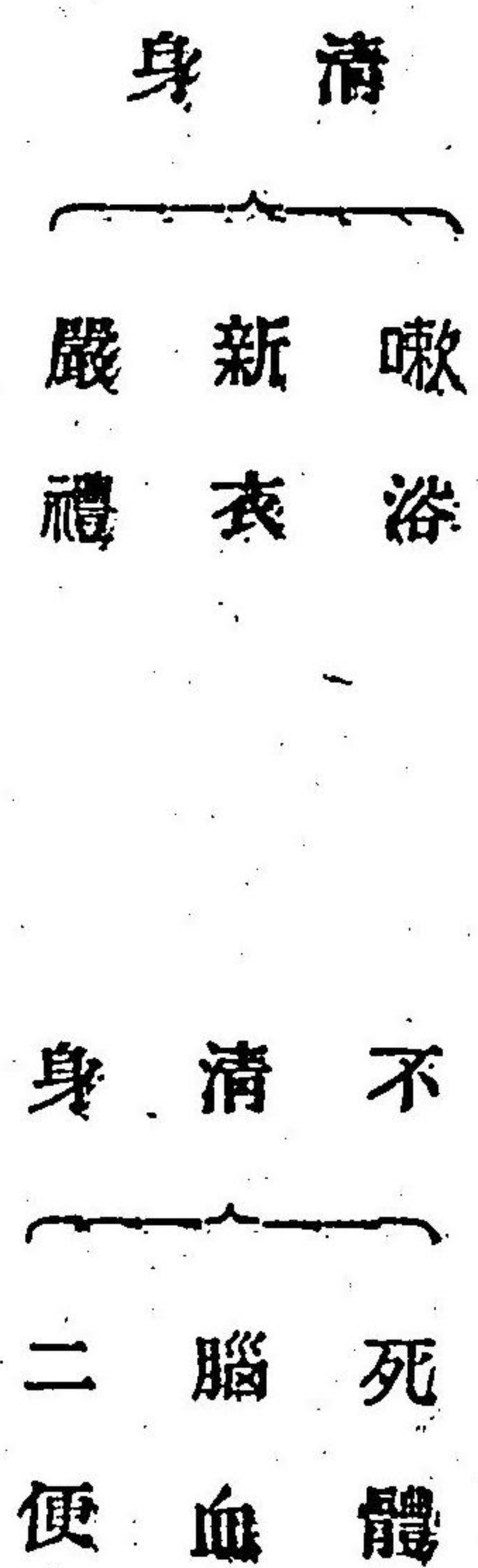
神三種ノ寶器ヲ以テ智信仁ノ三徳ヲ示サル即チ天津
教ナリ天然自然ノ教ナレハ人信シ得ルニ最モカク
志きしほ乃道茂たとら^は枯し野の
色あきいろ茂見る人もいな

教律ノ話

儒ニ禮義アリ佛ニ戒律アリ神教ニ清淨正直アリ清ト

不清ハ身ノ與カル所淨ト不淨ハ心ノ持スル所ナリ

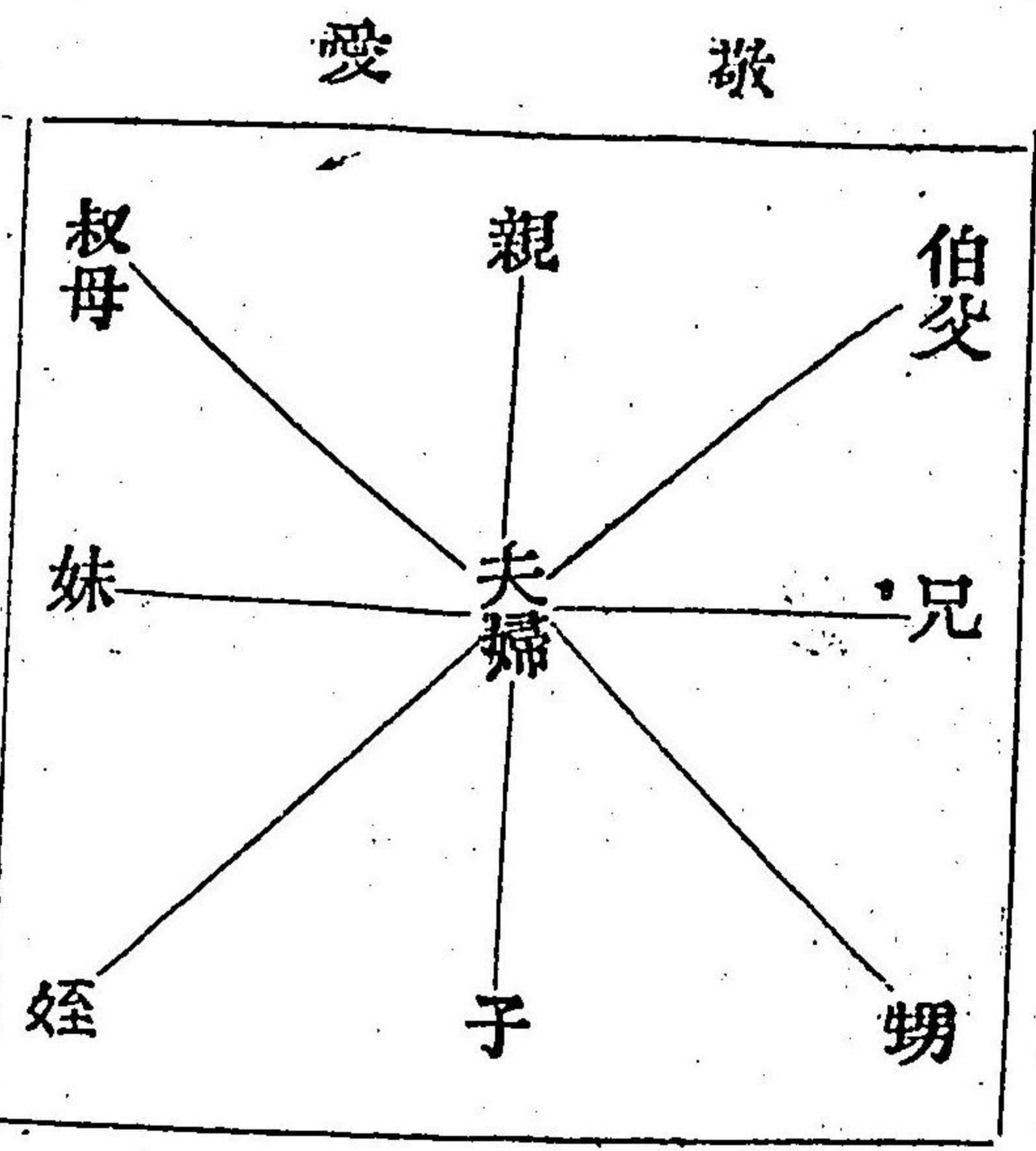
清不^清ノ話



身ヲ清スルハ神ヲ敬スル心ナリ巳ノ忌嫌ヲチ憚ルハ
神ヲ恐ル心ナリ恐敬共ニ神ヲ尊ム清キ心ナリ

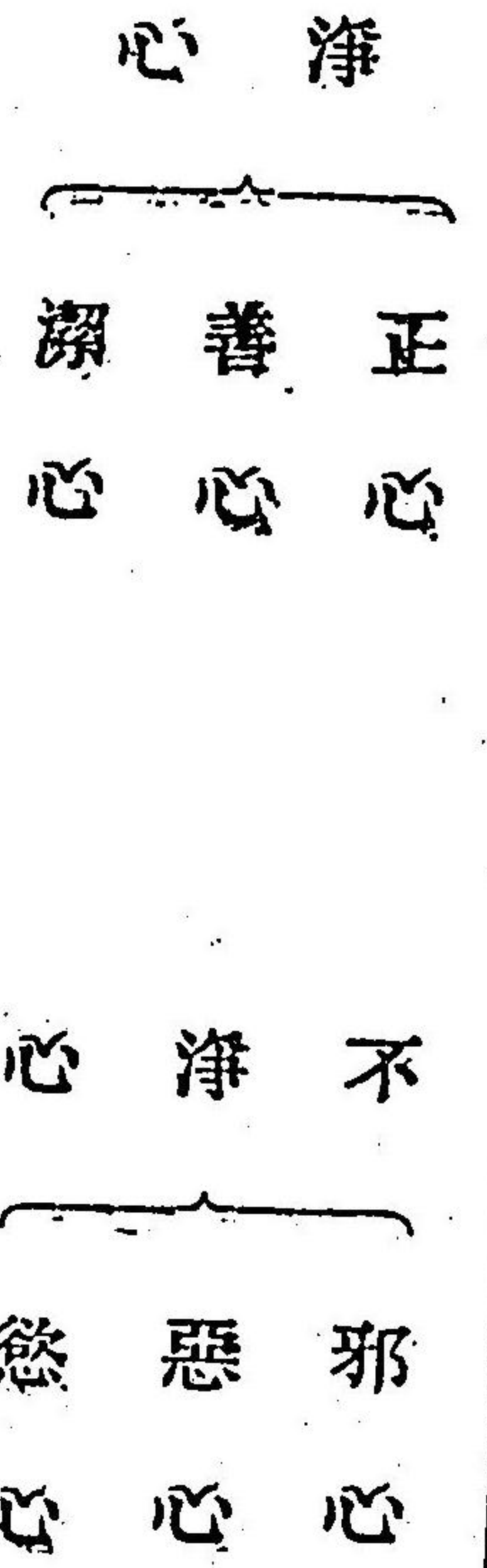
淨不淨ノ話

夫婦ハ八方ニ親シミ交リテ偏ラザルヲ中ト云上ヲ敬
 シ下ヲ愛スルヲ上下ノ中ト云中ハ即正ナリ親シミナ
 キ他人ハ共ニ敬シ共ニ愛スルヲ正中ト云一方一人ニ
 交リテ矢ノ如クナルヲ直ト云故ニ正ハ體ナリ直ハ用



正直ノ説話

正善潔ハ天ニ順フ淨心ナリ邪惡慾ハ天ニ逆フ不淨心
 ナリ正ハ天地ノ中ナリ萬物ノ本タリ萬事ノ的ナリ善
 ハ人ヲ助クルナリ深ハ人ノ物ヲ貪ラサルナリ邪ハ人
 ノ正ヲ妨ルナリ惡ハ人ヲ苦シメルナリ慾ハ勉メズン
 テ得ルユトキ欲スル心ナリ



ナリ

神恩ノ話

神身心共ニ生造在シテ我ニ賜 神衣食住藥ニナル物
々ヲ生造在テ我ニ賜 神晝夜且喜我ヲ鎮護在スユト
蔭ト形トノ如シ

此佗神恩ニアラサルアルヤ否

神命ノ話

善事ハ極メテナスベキナリ
惡事ハ必ズナスベカラズ

右二條幽冥ノ賞罰在テ以テ此神命ヲ察スベシ

農業學業商業ヲ樂テ勉勵ナスベキナリ

右一條ハ人ノ身ニ耳目手足アルヲ以テ此ノ神命ヲ
察スヘシ佗ノ業之ニ倣ヘ

正邪二氣ノ話

正氣充ルトキハ邪氣入ル處ナシ正氣不足アラハ邪氣
必ス入ヘシ其邪ヲ祓ンヨリハ正氣ヲ充スヘシ孟子浩
然ノ氣ヲ養フハ正氣ヲ養テ餒サヅルナリ正氣ハ即チ
生氣ナリ

禍災ノ話

若シ禍ヒ我身ニ來ヲハ自カラナセル禍ナレハ去ルベ
カラスト覺悟シテ懺愧ノ心信トナラハ神其禍ヲ輕シ
メ天災ハ去ラシメラル可シ

願心ノ話

天下泰平ヲ祈リ

玉體安全ヲ祈リ

寶祚長久ヲ祈リ

其佗都テ恩ニ酬ル志ナラハ願ベシ神其志ヲ感應在ス
ヘシ

富ト貴ハ天ニ任シテ願フヘカラス

死生ハ命ニ順フテ願ベカラス際限ナキ慾ト邪ハ極メ
テ願フベカラス

信心ノ話

萬物アレハ萬理アリ神ニ於テ生造鎮護ノ天理アリ神
其理ニ違ヒナク利生アルヲ神ノ誠ト云ナリ人神ノ生
造鎮護ノ誠ヲ信知スレハ人ノ爲ニ罔極ノ神恩ナリ人
其神恩ナアリガタビト喜シテ報スル心ヲ信心ト云ナ
リ

安心ノ話

神ヨリ賦與ヲ被ル正善潔ノ三心ヲ以テ穢キ邪惡慾ノ私心ヲ祓淨メ神ヨリ賜フ所ノ身ヲ以テ神ヨリ命セラ
ル産業ヲ樂ミ勉メ神ノ養育鎮護ヲ被リテ身ノ生涯ヲ
盡サシ人ハ眞ニ大安喜樂ノ地界ニ住スルニアラスヤ
身既ニ盡ルノトキ心ハ速ニ天ニ歸リテ
天ノ御中主大神ヲ拜シ一循環中ニナス功用ノ美賞ヲ被
リ奉ラシムト豈ニ喜シカラスヤ亦樂シカラスヤ

正道邪道ノ話

不學者多ク邪道ニ迷ヘシ
神學者多ク邪道ニ迷ヘシ

儒學者多ク邪道ニ迷ヘシ
佛學者多ク邪道ニ迷ヘシ
理學者多ク邪道ニ迷ヘシ
唯信者正道ニ歸スヘシ信ハ天ニ通レ神ニ通シ儒ニ通
シ佛ニ通シ萬國ノ人ニ通ス故ニ正道ナリ

大元昔シ話

昔シ昔シ其ムカシ 神武天皇ヨリマダ昔シ 天照大
御神ヨリマダムカシ 國常立尊ヨリマダムカシ 天
ノ御中主ノ尊ノ其昔ハ渾沌タル大元ト云テ其形ナ圓
ニシテ袋ノ如キ物アリ其中ニ清氣ト濁氣混淆シテ充

天神地
開化ノ
説古書
ニ違フ
深ク考
フ可シ

満ス清濁共ニ物ヲ生々スヘキ理アレトモ生セサルハ
清濁雙ヒ立テ後ナ和交セザレハナリ時ニ清氣少シ塊
スルアリ濁氣モ亦少シク塊スルアリ清濁ノ二塊圓袋
ノ中央ニ會交ス忽チ一物化スルアリ即 天ノ御中主
ノ尊ナリ 西洋ハ造物者ト云印
度ハ彌陀如來ト云フ 中主尊化スル時清濁ノ二
氣別レ清ハ上テ天トナリ濁ハ下テ地トナル 中主尊
思ヘラク天神地ノ三物具レハ人ヲ生セサル理アルヘ
カラス人ヲ生ス可シ人ヲ造ルベシ再ヒ思ヘラク人ヲ
造ルヲ先トスルモ人ヲ養ヒ育ツル物々アラザレハ死
ニ至ラン故ニ先ツ人ヲ養育スル物々ヲ造ルヘシト抑
天神地ノ造ル萬物分テ二ツ有情無情是也其有情分テ

五ツ人禽獸蟲魚是也其無情分テ五ツ木火土金水 草木
金属玉石ハ 森羅萬像悉ク衣食住藥ニ附シテ人ヲ養育セ
サルアラサル也一物ナレハ一神化シ萬物生レハ萬神
化ス皆 中主尊ノ造物ナリ分神也萬神萬物成リ而後
人ヲ造ル其人ノ身體及五臟六腑其工ニ密ナル目ニ見
ル可ラス口ニ説可ラス人像既ニナリテ目見ヘス耳聞
ヘス鼻臭ヲス故ニ 中主尊吾神ヲ分與シ給ウ 尊又
命テ曰ク一ニハ善ヲナスヘシ二ニハ惡ヲ爲ス可ラス
三ニハ産業ヲ勵ムヘシ善ヲナセハ福ヒテ被ル惡ヲナ
セハ禍ヲ被ル産業ヲ勵マサレハ貧ニ至ル是レ天命ナ
リ神命ナリ惡ヲナスハ人ヲ困ムルナリ善ヲナスハ人

ヲ助クルナリ人ヲ助ルハ恩ヲ施ス也其施ヲ受タル人
必ス報スルノ心アリ是天理也人道也其恩ニ大小アリ
小恩ヲ報スルハ多ク大恩ヲ報スルハ少シ小恩ハ際限
ナシ大恩ハ 神恩君恩親恩師恩是也有情ナル者ニ於
ル蟲魚ハ親子ヲ生産シテ養育セス故ニ親子ヲ知ラス
子親ヲ知ラス禽獸ナル者ハ親子ヲ生産シ養育ス然ル
ニ子親ノ恩ヲ知ラス知ラサレハ報セズ人ハ親子ヲ生
産シテ厚ク養育ス子親ノ^供恩ヲ知リテ孝養ヲ盡ス故
ニ萬物ノ長メリ萬物ノ靈タル人トシテ恩ヲ知ラサレ
ハ禽獸ニ等シ知テ報サレハ蟲魚ニ劣ル也萬物ノ長萬
物ノ靈タル人ニ生レ神ノ鎮護ヲ被リ 大君ノ保護ヲ

被リ父母ノ慈悲ヲ被リ師ノ教ヲ被リ萬物ノ助ヲ得テ
生涯ヲ盡スニ何ノ不足アリ何ヲ願ヒ何ヲ哀ミ何ヲ怒
リ何ヲ憎ム唯神ノ教ニ從ヒ清淨正直ヲ體トシテ産業
ヲ樂ミ勵ミ善ヲ爲テ惡ヲナサズレハ 神 皇親師共
々ニ歡虞シ玉ウヘシ夫レ神ノ人ニ於ル君ノ民ニ於ル
親ノ子ニ於ル師ノ弟ニ於ル恩愛ノ大小アルモ眞實ハ
一也弟ノ師恩ヲ報セサレハ身修ラス子ノ親恩ヲ報セ
サレハ家齊ハス民ノ君恩ニ報セサレハ天下平カナラ
ス人ノ神恩ニ報セサレハ四海靜カナラス人民ナル者
神恩 皇恩ヲ報セサレハアル可ラス子弟ナル者親
恩師恩ニ謝シ盡サズレハアルヘカラス

おみよみの人乃ほふこ天照す

神の恩み乃ほきらけたる者

麻とわた夏と冬との衣ある

日鷲の神乃恩美ぬくとや

ばしとらハ人の命煖うけもちの

神乃たぐみ煖ぬらくほしはへ

千代とみほおきり嵐のうよくと

きはあしからてすみよしの松

も、千筋道は別れて流るとも

天津としへは清きみあふ美

神道神教話終

跋

愚ナシテ智ニ進メ惡ナシテ善ニ歸セシムルハ教道ノ
大法人ニ交リテ彼レヲ知り我ヲ知ルハ智ヲ用ルノ發
端ナリ今ヤ萬國交際ノ際各國ノ智愚善惡ヲ察セサレ
ハアルヘカラス其智ト愚ヲ察セント欲セハ先ツ教ノ
有無ヲ視ルヘシ教アレハ其國智ナリ教ナケレハ其國
愚ナリ亦善ト惡トヲ察スルニハ教ノ鹿密ヲ視ヘシ教
へ鹿ナレハ其國善ナリ教密ナレハ其國惡ナリ教ノ鹿
密ヲ視テ其國ノ善惡ヲ察スルハ恰モ藥品ヲ視テ病ノ
輕重ヲ察スルカ如シ抑モ我神州ノ天津教ハ唯敬神
明倫而已ニシテ甚タ鹿ナリ然ルニ君子國ノ名アリ儒

教來テ我國教ノ明倫ヲ補ス支那ノ教ハ我國教ヨリ頗
ル密ナリ故ニ彼國ニ君ヲ弑シテ其國ヲ奪フ惡人多シ
又佛敎來テ我國教ノ敬神ヲ弼ス印度ノ教ハ支那ノ教
ヨリ最モ密ナリ故ニ彼ノ國ニ爵祿ヲ奪ンカタメ父ヲ
弑スル者一万八千ノ惡人アリ現今理學化學來リテ我
國ノ利用厚生ニ加フ鐵道電信ハ利用ナリ西洋ノ學ハ支那
印度ノ教ヨリ顯ニシテ精シ彼ノ地モ故ト愚ニシテ惡
ナル國ナリ故ニ邪蘇其惡ヲ憐ミテ勸善ノ教法ヲ布弘
ス又羅馬以來文明ヲ開化シテ智ヲ進步セシムルナリ
其智ナル者ハ進ミテ退カサル者ナレハ今ニ至リテ斯
ノ如ク利用厚生ヲ尽セリ善ナル者ハ進ミ難ク退キ易

キ者ナレハ彼國ノ躰裁果シテ兵ト商トニ止レリ爾來
各國交際ヲ名トシ實ハ貿易ヲ主張ス其貿易ノ慾情終
ニ交際ノ信ヲ失ヒ恐クハ盟約ヲ破ルニ至ラン夫レ人
ノ心ニ智信仁ノ三德具ル其三德ヲ正シウナスハ天ト
人トノ大道ナリ然ルニ信仁ノ二德ヲ措キテ智ノ一德
而已ヲ進步ナスニ於テハ正智多クハ邪智ニ變シ國ヲ
亂シ天下ヲ覆シ甚シキニ至テハ寶祚ヲ廢シ奉ラン
ト謀ル極惡ニ至ルヘシ實ニ近來ノ文明學ハ其利益廣
大ナレトモ損害モ亦莫大ナルハ有慾ノ智ヲ進メ無慾
ノ信ニ止マラサル弊害ナリ深ク慎ムヘキナリ

